

ICクレジットカードに関する消費者意識調査

【結果報告書】

2005年8月

日本クレジットカード協会



目 次

◆調査概要	1
◆調査結果(総括)	2
I. 回答者属性	
1. クレジットカードの所有状況、利用状況①	9
2. クレジットカードの利用状況②	10
II. クレジットカードの安全性への意識	
1. クレジットカードの利便性、安全性への不満	11
2. 売上票について	12
III. ICクレジットカードについて	
1. ICクレジットカードの認知	13
2. ICクレジットカードの利用方法や現状の認知①	14
3. ICクレジットカードの利用方法や現状の認知②	15
4. ICクレジットカードの利用方法や現状の認知③	16
5. ICクレジットカードの利用方法や現状の認知④	17
6. ICクレジットカードの所有①	18
7. ICクレジットカードの所有②	19
8. ICクレジットカードの所有③	20
9. ICクレジットカードの所有枚数、利用状況	21
10. ICクレジットカードの暗証番号入力	22
11. 今後のクレジットカードの利用意向①	23
12. 今後のクレジットカードの利用意向②	24
13. ICクレジットカードを選ぶ理由①	25
14. ICクレジットカードを選ぶ理由②	26
15. 従来式(磁気)カードを選ぶ理由	27

調査概要

【調査目的】 クレジットカードの安全性に対する消費者の意識、ICクレジットカードの知識を把握するため

【調査対象】 20歳～69歳の男女（クレジットカード保有者のみ）

【調査地域】 全国

【調査方法】 インターネット調査

【抽出方法】 弊社インターネットモニターより性・年代ごとに無作為抽出
各性・年代のサンプル数が均等になるようにサンプルを割り当てた

＜回収サンプルの内訳＞

	20～29歳	30～39歳	40～49歳	50～59歳	60～69歳
男性	55	58	68	77	84
女性	53	58	62	81	88

注)実際の集計にあたっては、上記の各性・年代のサンプル数が均等になるように、ウエイト付け集計を行った。

【サンプル数】 設定 1700サンプル
回収 684サンプル（回収率 40.2%）

【調査時期】 2005年7月21日(木)～7月28日(木)

【調査主体】 日本クレジットカード協会

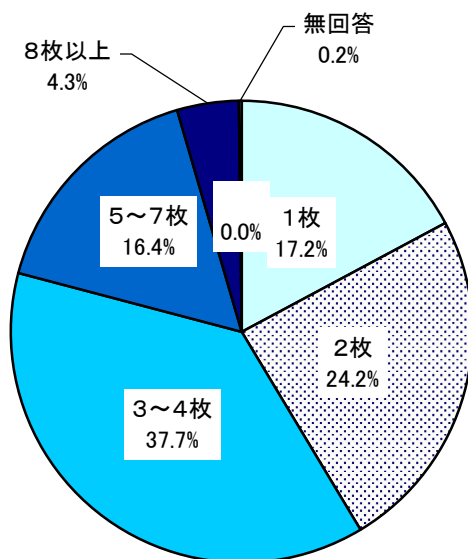
【調査実施機関】 株式会社日経リサーチ

I. 回答者属性

1. クレジットカードの所有状況、利用状況①

Q2. あなたは現在クレジットカードを合計で何枚持っていますか。(ひとつだけ)

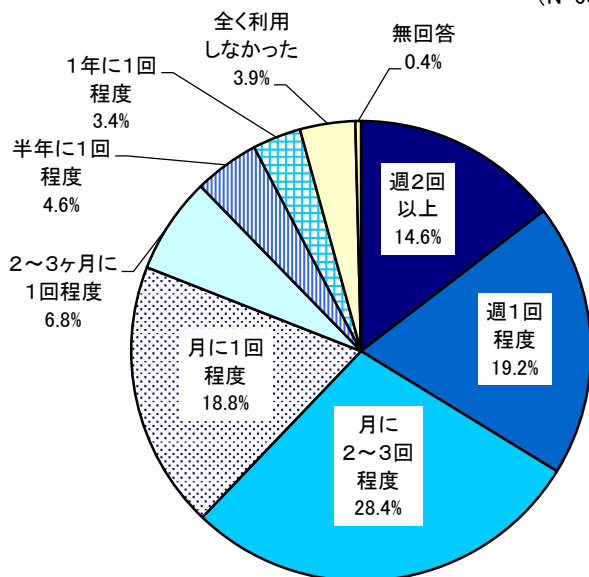
(N=684)



平均 3.4枚

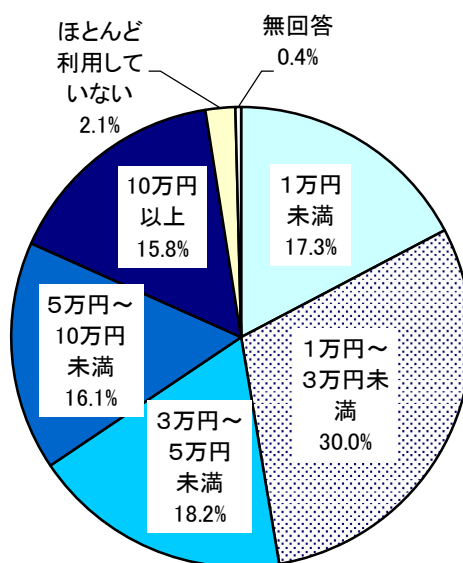
Q3. 最近一年間で、あなたはどのくらいの頻度でクレジットカードを利用しましたか。(ひとつだけ)

(N=684)



Q4. (Q3で「利用した」と回答した方へ)
最近一年間で、あなたは月平均いくらぐらいクレジットカードを利用しましたか。(ひとつだけ)

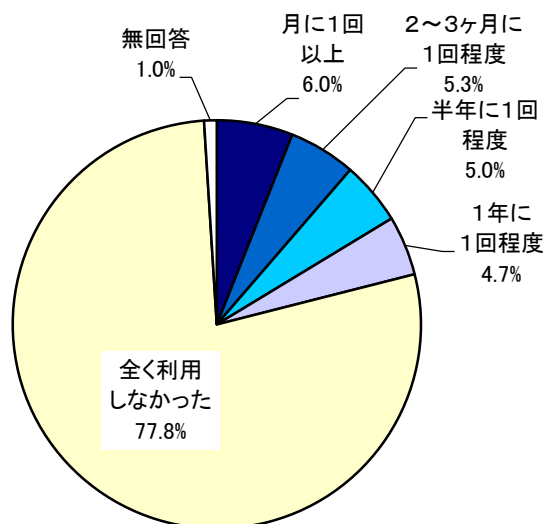
(n=655)



平均 45,424.6円

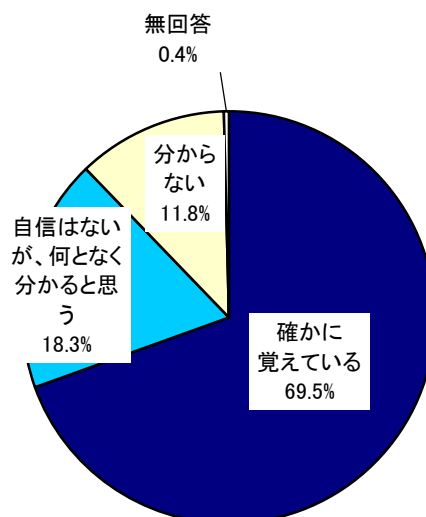
Q5. (Q3で「利用した」と回答した方へ)
最近一年間で、あなたはどのくらいの頻度で
キャッシング機能を利用しましたか。(ひとつだけ)

(n=655)



Q8. あなたはクレジットカードの暗証番号を
覚えていますか。(ひとつだけ)

(N=684)



Ⅱ. クレジットカードの安全性への意識

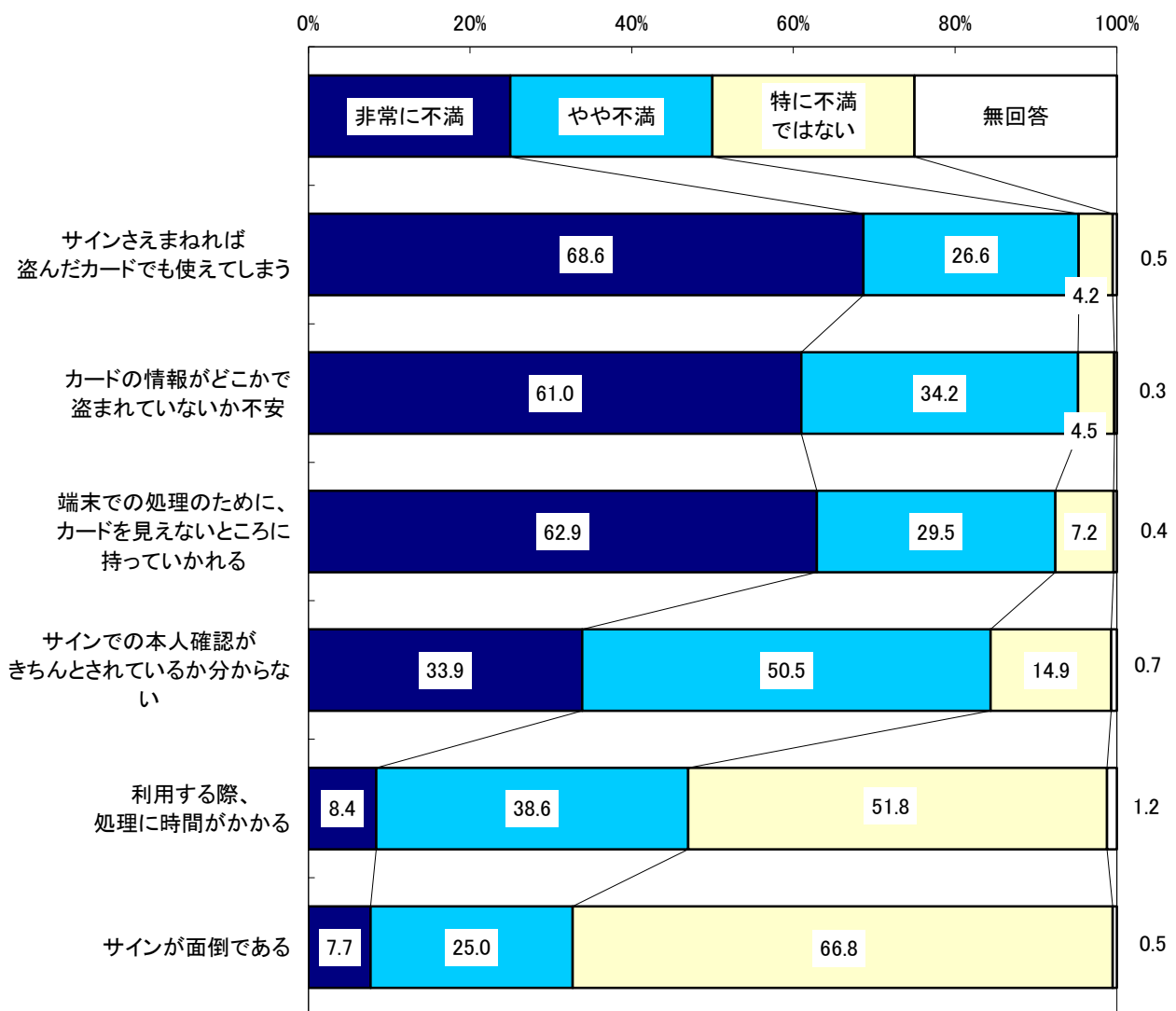
1. クレジットカードの利便性、安全性への不満

クレジットカードの利便性、安全性の不満点についてたずねた。

「非常に不満」との回答が最も多かったのは『サインさえまねれば盗んだカードでも使えてしまう』(69%)で、約7割を占める。次いで『端末での処理のために、カードを見えないところに持っていられる』(63%)、『カードの情報がどこかで盗まれていないか不安』(61%)の順。これら上位3項目は、「やや不満」まで含めると9割以上にのぼる。一方、不満度が低かったのは『サインが面倒である』で、7割近くが特に不満ではないと回答している。

Q9. あなたは、クレジットカードの利便性、安全性に関する以下の点について、どの程度不満に思いますか
(それぞれひとつずつ)

(N=684)

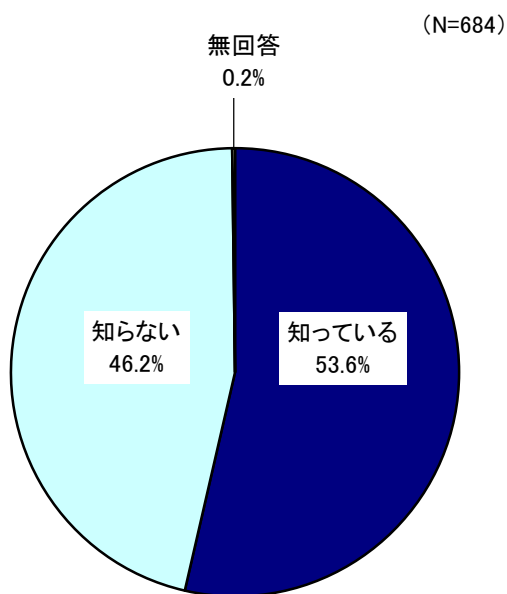


Ⅱ. クレジットカードの安全性への意識

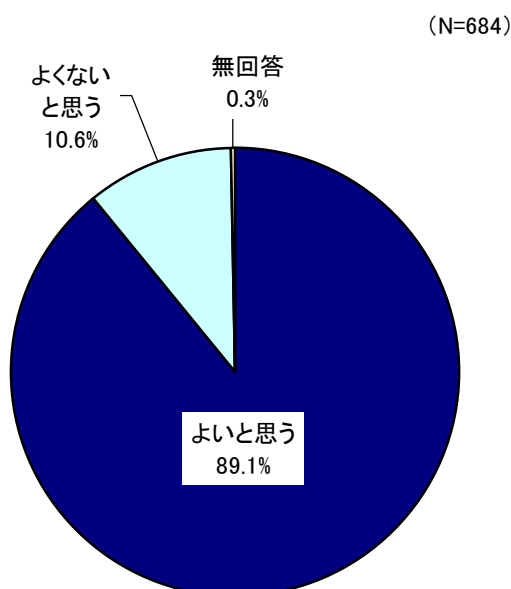
2. 売上票について

売上票(お客様控え)に記載されるクレジットカードの番号が一部省略されるようになってきたことを「知っている」人は、54%と全体の半数を超える。
また、カード番号を省略することについては、「よいと思う」と回答した人が圧倒的で約9割にのぼる。

Q15. あなたは最近、売上票(お客様控え)に記載されるクレジットカードの番号が一部省略されるようになってきたことをご存知ですか。(ひとつだけ)



Q16. あなたは、売上票(お客様控え)のカード番号が省略されていることについてどう思いますか。(ひとつだけ)



Ⅲ. ICクレジットカードについて

1. ICクレジットカードの認知

ICクレジットカードの認知度について、属性別にみた。

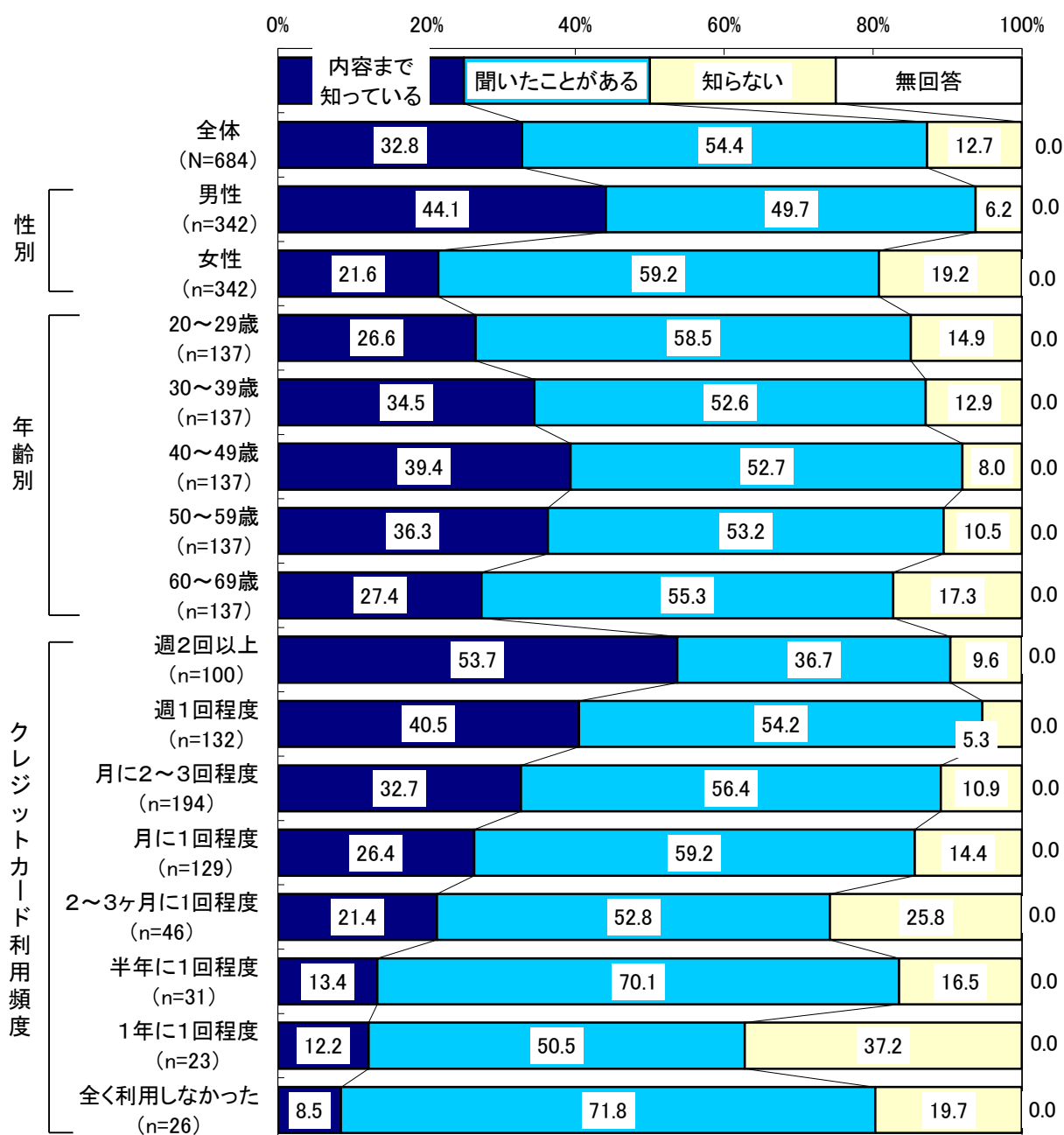
全体では「聞いたことがある」まで含めた認知度は87%で、「内容まで知っている」人は約3分の1。

性別では男性の認知度が高く、特に「内容まで知っている」(44%)は女性を20ポイント以上上回る。

年齢別では、40代の認知度が9割を超えて最も高くなっている。

クレジットカード利用頻度別でみると、利用頻度が高くなるほど「内容まで知っている」割合が高く、週2回以上の高頻度利用層では半数を超える。

Q11. あなたは、「ICクレジットカード」についてご存知でしたか。(ひとつだけ)



Ⅲ. ICクレジットカードについて

2. ICクレジットカードの利用方法や現状の認知①

ICクレジットカードの利用方法や現状の認知度についてたずねた。

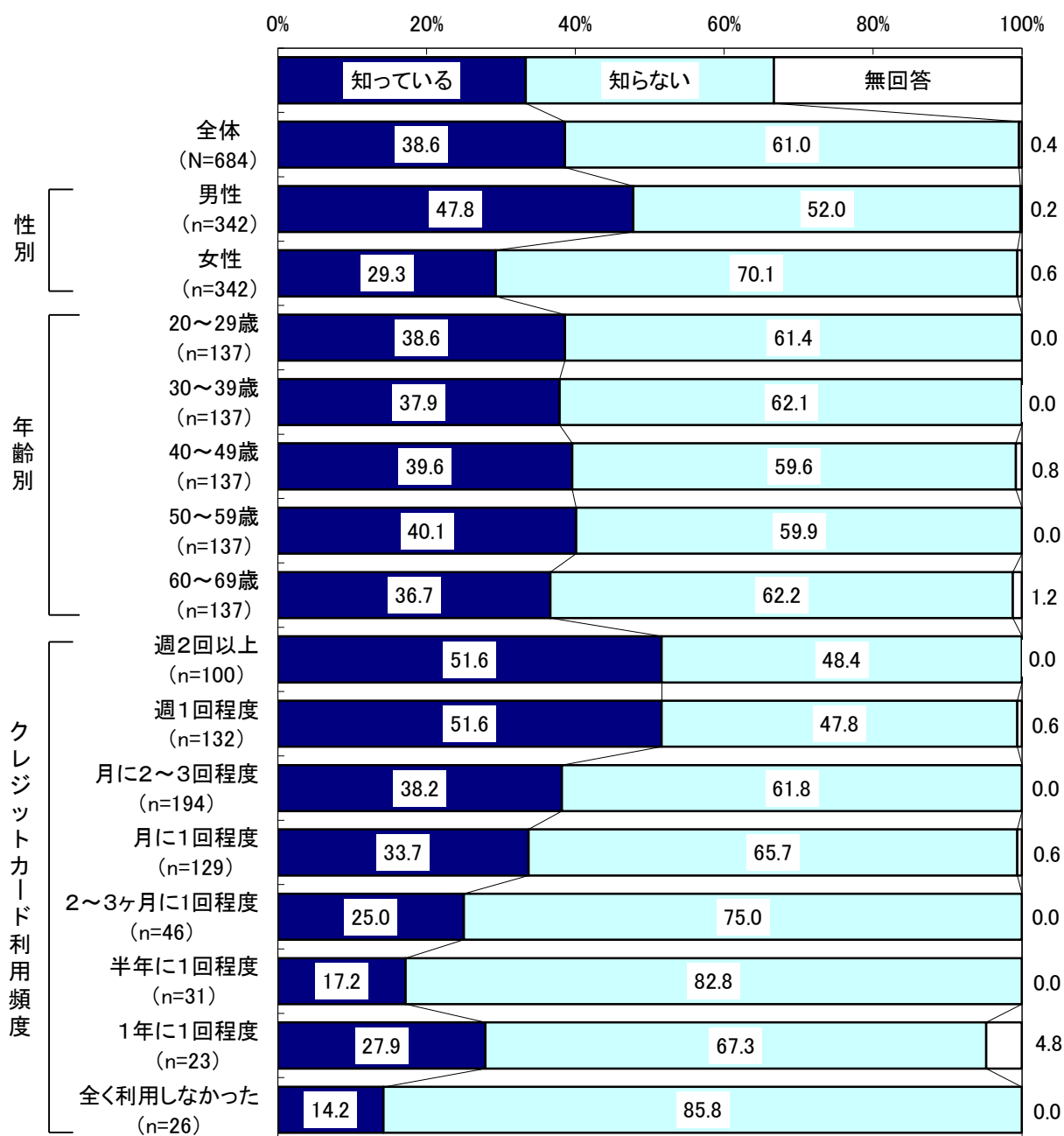
＜ICクレジットカード対応端末設置加盟店では、原則サインの代わりに暗証番号入力で利用できる＞ことについて、全体の39%が「知っている」と回答している。

性別では男性の認知度が高く、半数近くを占めるが、女性の7割は「知らない」と回答している。

クレジットカード利用頻度別では、週2回以上と週1回程度の利用頻度が高い層の認知度が半数強と高くなっている。

Q12. あなたは、以下にあげる「ICクレジットカード」の利用方法や現状をご存知ですか。
(それぞれひとつずつ)

1. ICクレジットカード対応端末設置加盟店では、原則サインの代わりに暗証番号入力で利用できる



Ⅲ. ICクレジットカードについて

3. ICクレジットカードの利用方法や現状の認知②

＜ICクレジットカード未対応の端末では、従来通りサインをすることで利用できる＞ことについては、全体の42%が「知っている」との回答。

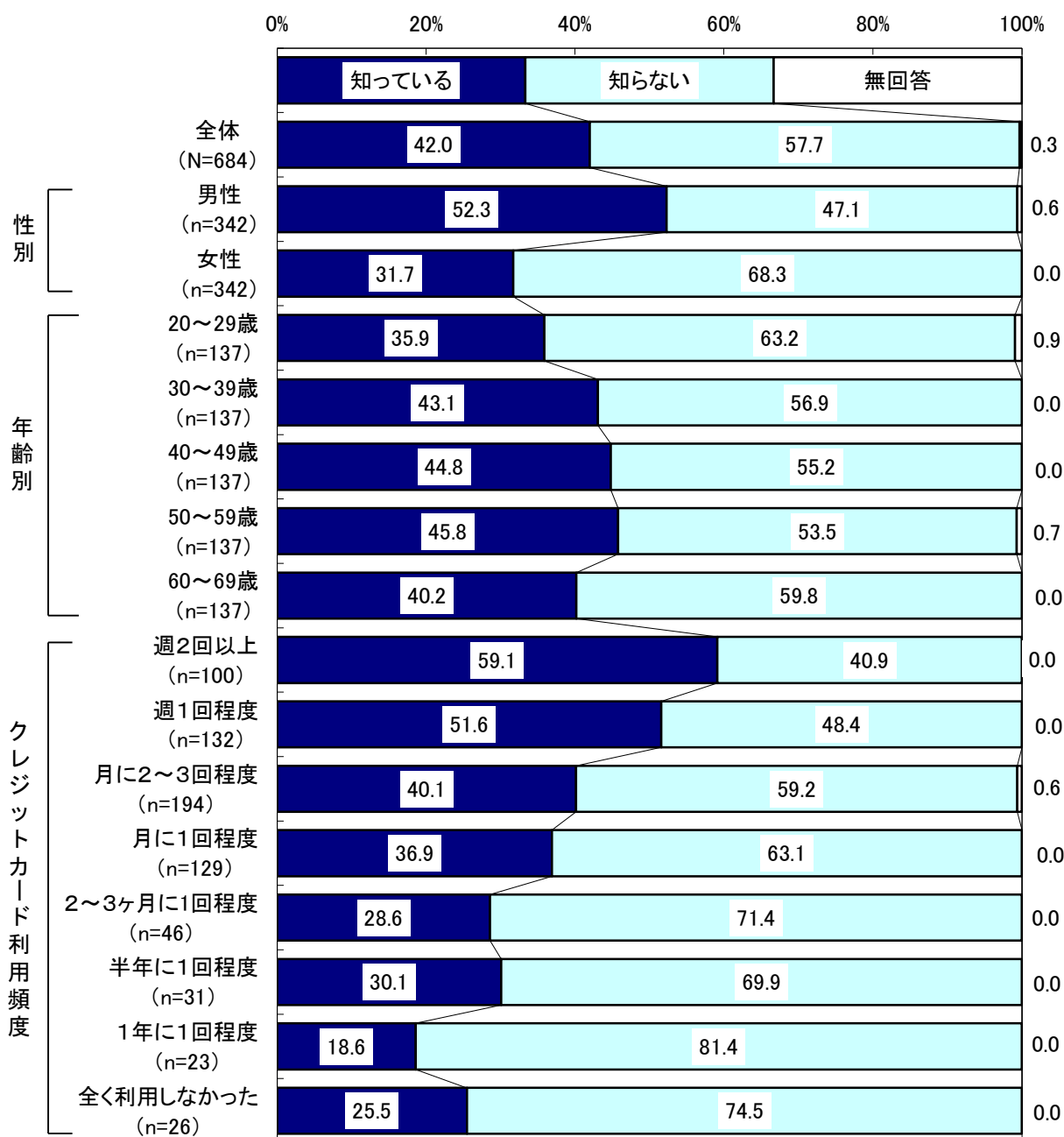
性別では男性の認知度が52%と高く、女性と20ポイント以上の開きがある。

年齢別でみると、50代までは年齢が上がるにつれ認知度も上昇している。

クレジットカード利用頻度別では、利用頻度の高い層で認知度が高く、週2回以上では約6割にのぼる。

Q12. あなたは、以下にあげる「ICクレジットカード」の利用方法や現状をご存知ですか。
(それぞれひとつずつ)

2. ICクレジットカード未対応の端末では、従来通りサインをすることで利用できる



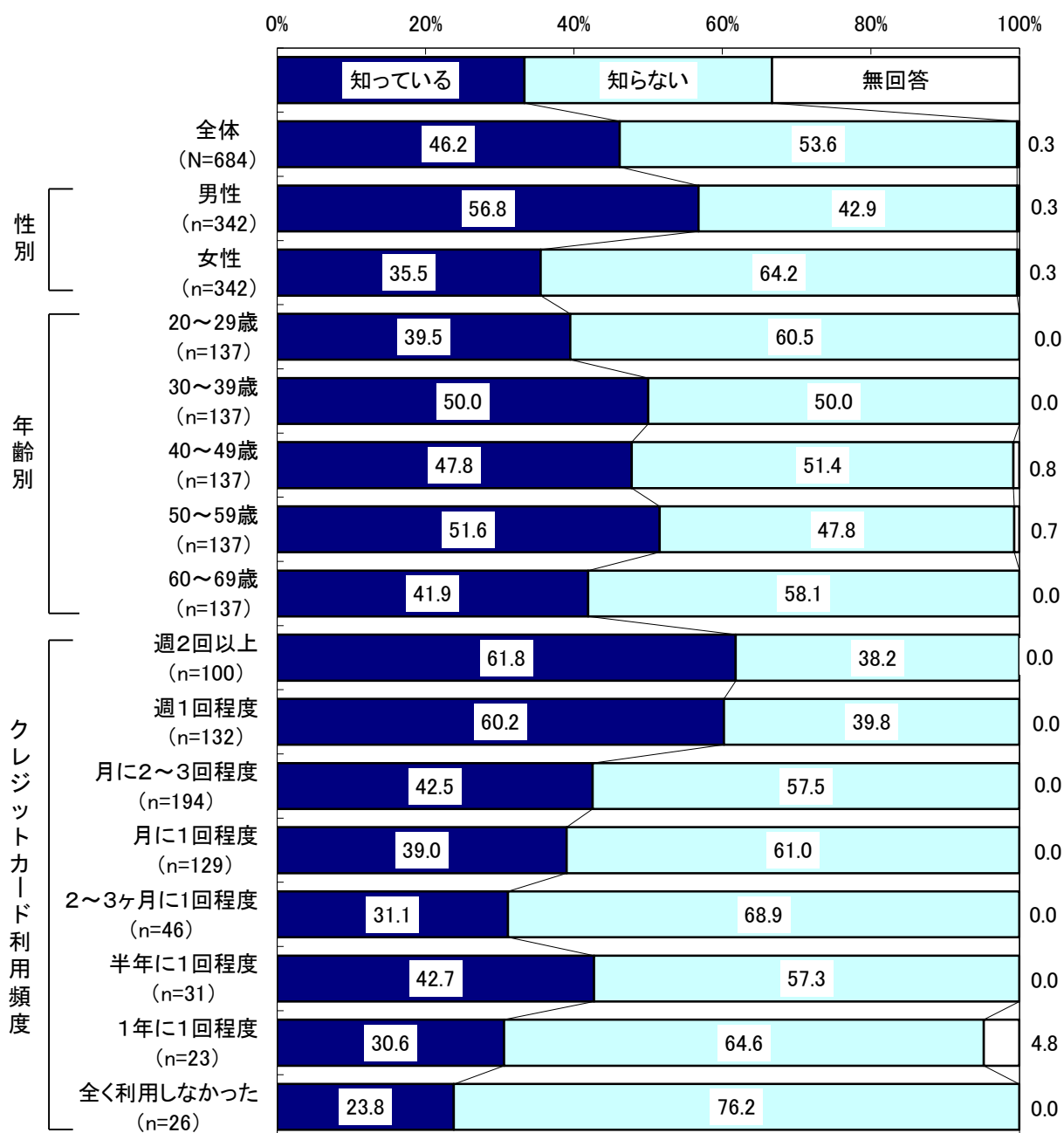
Ⅲ. ICクレジットカードについて

4. ICクレジットカードの利用方法や現状の認知③

＜現段階では、まだICクレジットカードに対応していない端末も多い＞ことについての認知度は、全体では46%。
性別では男性の認知度が57%と高く、女性を20ポイント以上上回る。
年齢別の認知度は、30～59歳で5割前後と高くなっている。
クレジットカード利用頻度別では、週2回以上と週1回程度の高頻度利用層で6割を超え高くなっている。

Q12. あなたは、以下にあげる「ICクレジットカード」の利用方法や現状をご存知ですか。
(それぞれひとつずつ)

3. 現段階では、まだICクレジットカードに対応していない端末も多い



Ⅲ. ICクレジットカードについて

5. ICクレジットカードの利用方法や現状の認知④

＜銀行系カード会社を中心に、順次、従来式(磁気)からICクレジットカードへ切り替えが進んでいる＞ことについては、全体の54%が認知している。

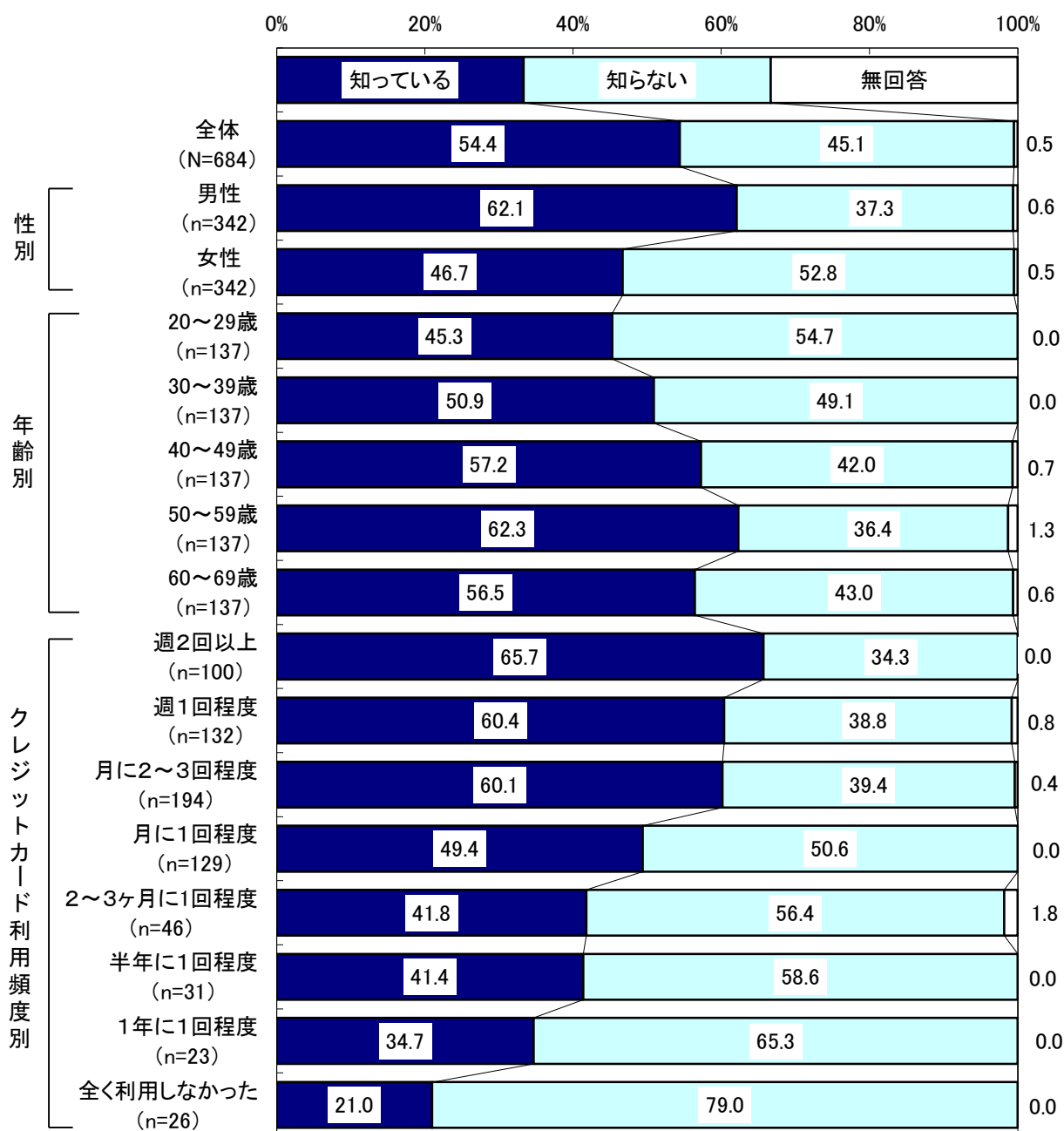
性別では他の項目同様男性の認知度が高く、62%が「知っている」との回答。一方、女性の認知度も47%と、他の項目に比べると高くなっている。

年齢別では、59歳までは年齢が上がるにつれ認知度も上昇し、50代では62%と最も高い。

クレジットカード利用頻度別でみると、利用頻度が高くなるにつれ認知度も高くなる傾向がみられる。

Q12. あなたは、以下にあげる「ICクレジットカード」の利用方法や現状をご存知ですか。
(それぞれひとつずつ)

4. 銀行系カード会社を中心に、順次、従来式(磁気)からICクレジットカードへ切り替えが進んでいる

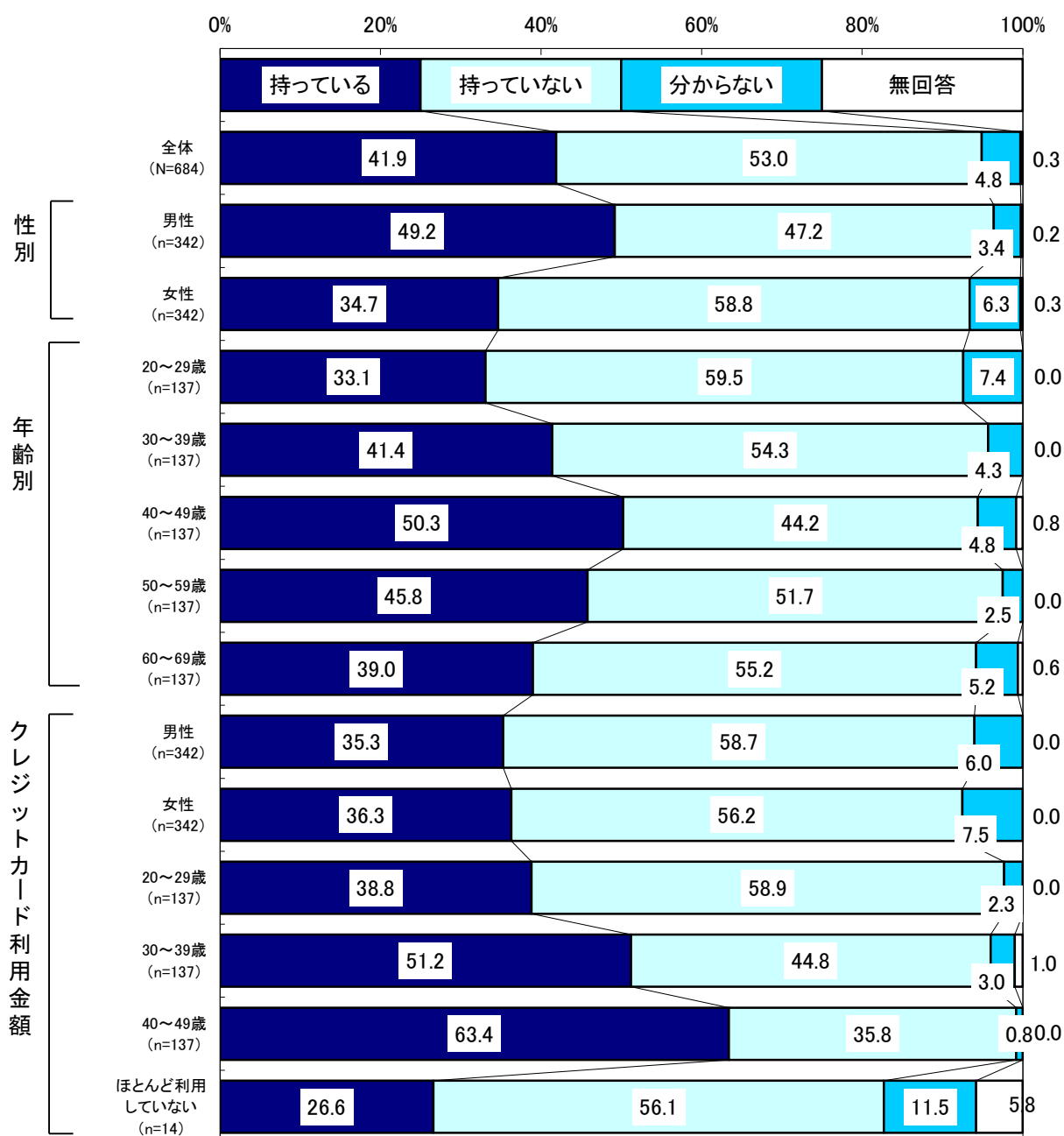


Ⅲ. ICクレジットカードについて

6. ICクレジットカードの所有①

ICクレジットカードの所有状況を見ると、全体の42%が「持っている」と回答。
性別では男性の所有率が高く、約半数を占めるが、女性は3分の1程度にとどまる。
年齢別では、40代の所有率が5割と最も高くなっている。
利用金額別でみると、利用金額が高くなるにつれ所有率も上がり、10万円以上の利用層では6割以上にのぼる。

Q13. あなたは、「ICクレジットカード」をお持ちですか。(ひとつだけ)



Ⅲ. ICクレジットカードについて

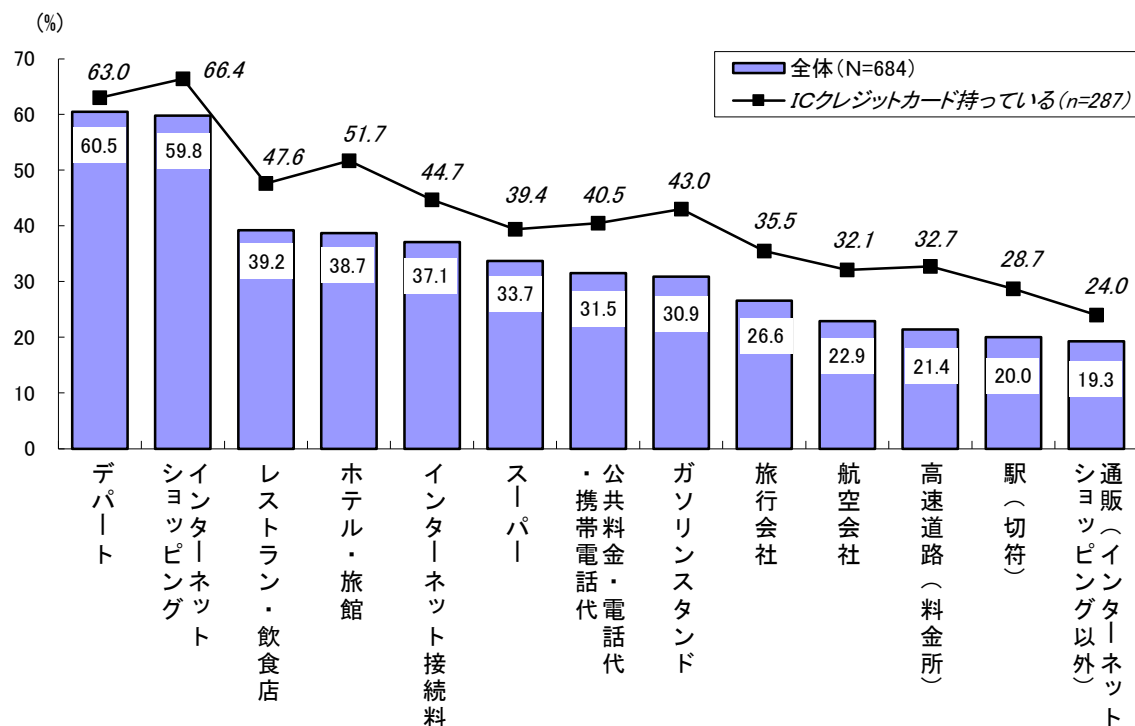
7. ICクレジットカードの所有②

クレジットカードの利用場面・目的についてたずねたところ、全体では「デパート」、「インターネットショッピング」がともに全体の6割を占め3位以下に20ポイント以上の差をつけている。次いで「レストラン・飲食店」(39%)、「ホテル・旅館」(39%)、「インターネット接続料」(37%)の順。

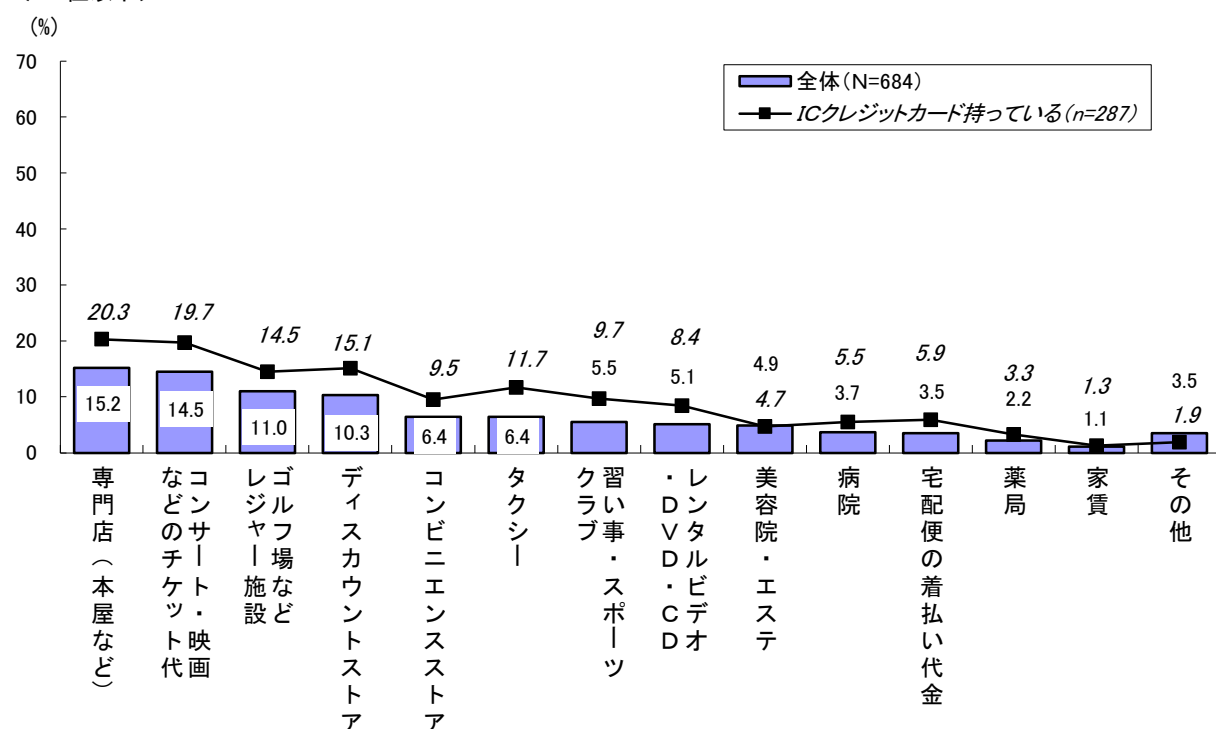
ICクレジットカードを持っている人は、「インターネットショッピング」(66%)が最も多く、以下、「デパート」(63%)、「ホテル・旅館」(52%)、「レストラン・飲食店」(48%)などが続く。全体と比較すると、「ホテル・旅館」「ガソリンスタンド」「高速道路(料金所)」での利用が10ポイント以上上回っている。

Q6. あなたはどのような場面や目的でクレジットカードを利用しますか。(いくつでも)

<1位～13位>



<14位以下>



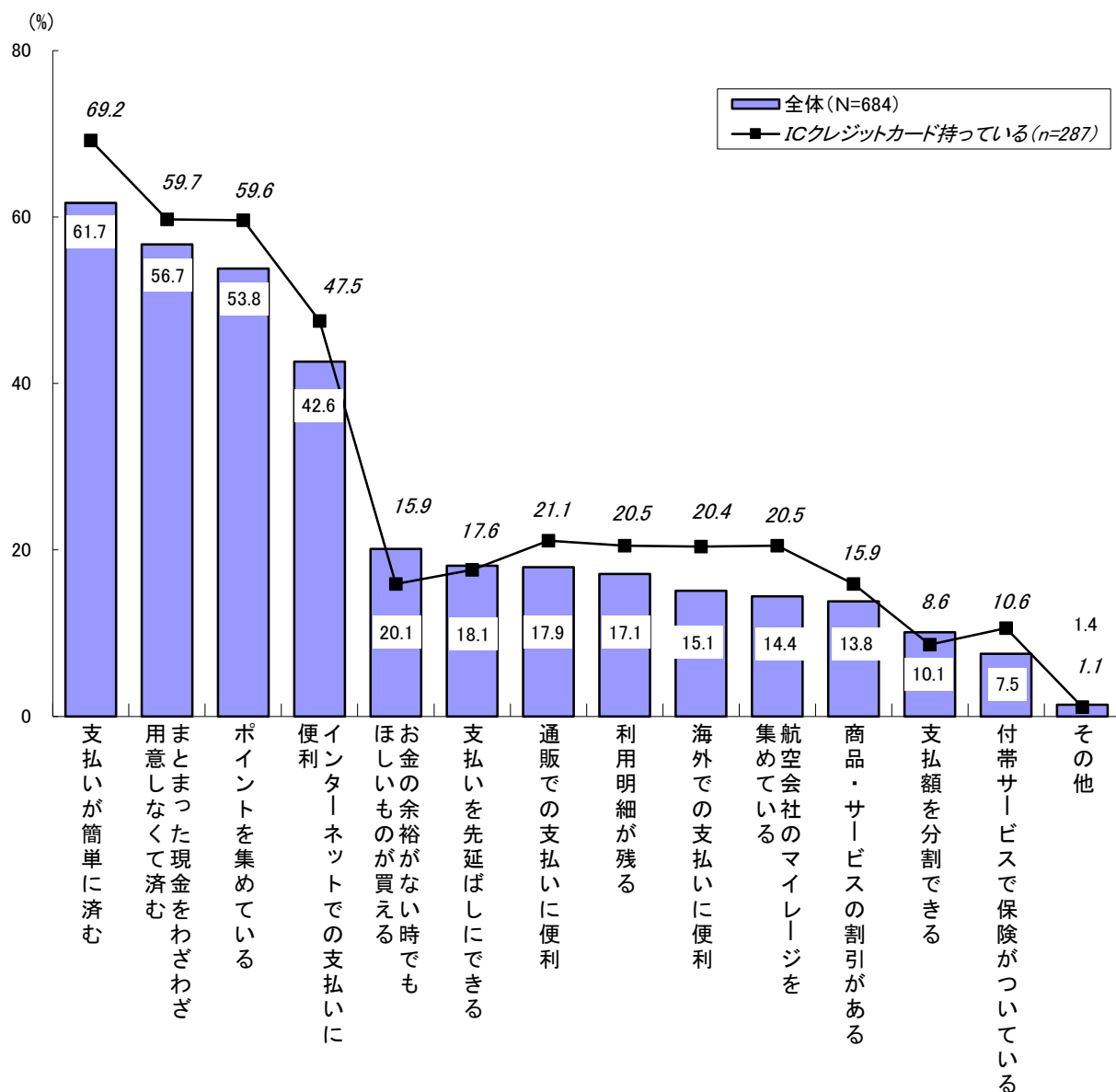
Ⅲ. ICクレジットカードについて

8. ICクレジットカードの所有③

クレジットカードを利用する理由については、全体では「支払いが簡単に済む」(62%)との回答が最も多く、次いで「まとまった現金をわざわざ用意しなくて済む」(57%)、「ポイントを集めている」(54%)、「インターネットでの支払いに便利」(43%)の順。

ICクレジットカードを持っている人に聞いた場合も、これら上位4項目の順位に変わりはないが、全体と比較して「支払いが簡単に済む」は8ポイント、「ポイントを集めている」「インターネットでの支払いに便利」「海外での支払いに便利」「航空会社のマイレージを集めている」などはそれぞれ5ポイント以上上回っている。

Q7. あなたがクレジットカードを利用する理由は何ですか。(いくつでも)



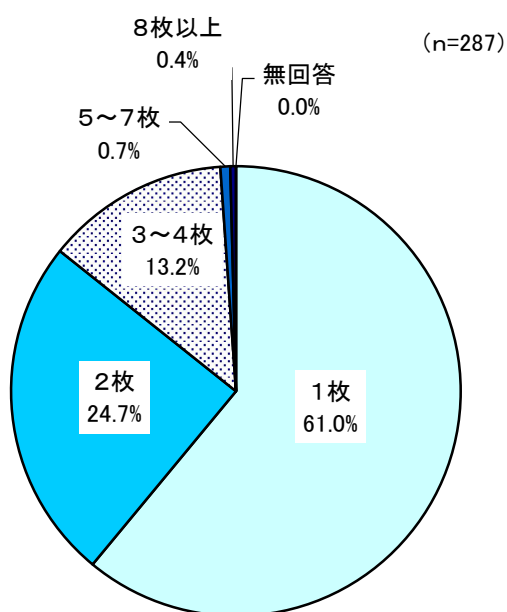
Ⅲ. ICクレジットカードについて

9. ICクレジットカードの所有枚数、利用状況

「ICクレジットカードを持っている」と答えた人に、ICクレジットカードの所有枚数をたずねたところ、「1枚」との回答が最も多く、61%。次いで「2枚」(25%)、「3～4枚」(13%)の順。

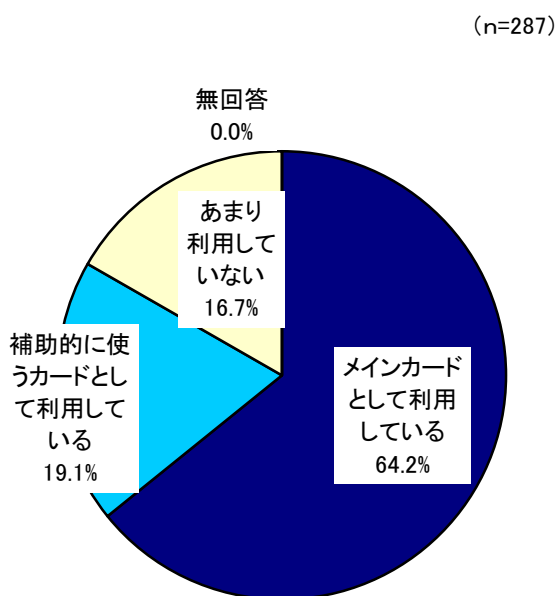
ICクレジットカードの利用状況については、「メインカードとして利用している」人が64%と圧倒的。「補助的に使うカードとして利用している」(19%)まで含めると、8割以上の人々がICクレジットカードを利用している。

Q13SQ1. (Q13で「ICクレジットカードを持っている」とお答えの方に)
「ICクレジットカード」を何枚持っていますか。(ひとつだけ)



平均 1.6枚

Q13SQ2. (Q13で「ICクレジットカードを持っている」とお答えの方に)
「ICクレジットカード」を利用していますか。(ひとつだけ)



利用合計 83.3%

Ⅲ. ICクレジットカードについて

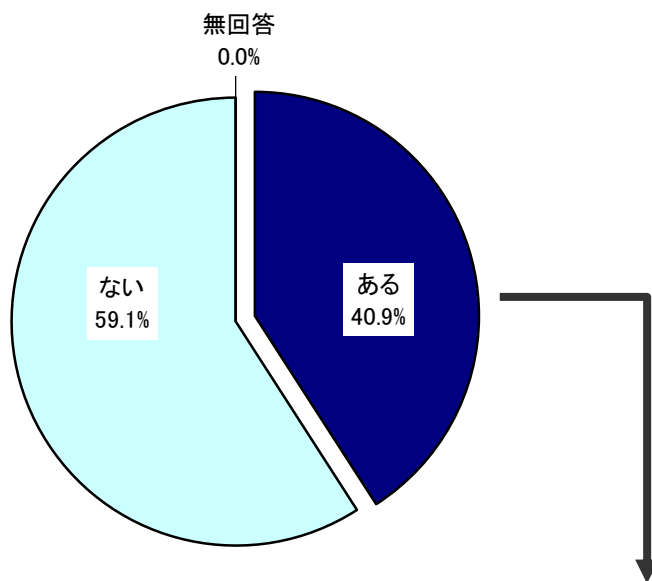
10. ICクレジットカードの暗証番号入力

「ICクレジットカードを持っている」と答えた人に、店頭で支払いの際、暗証番号の入力を求められたことがあるかたずねたところ、41%が「ある」と回答。

また、暗証番号の入力を求められたことが「ある」と回答した人に、暗証番号を求められた際の対応を聞いたところ、「暗証番号を入力した」人が85%にのぼり、「暗証番号の代わりにサインで済ませた」人は18%。

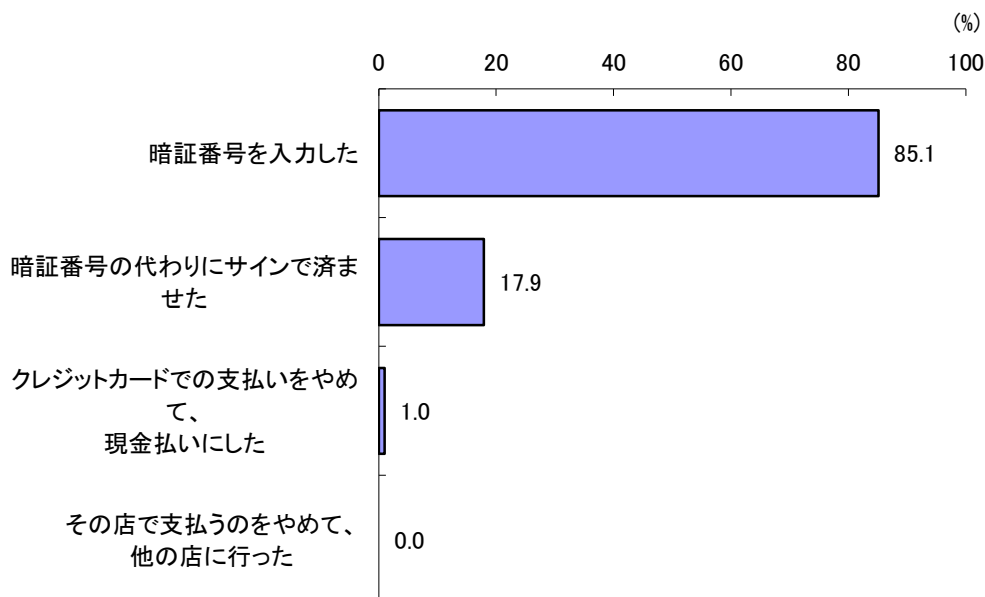
Q13SQ3. (Q13で「ICクレジットカードを持っている」とお答えの方に)
店頭で支払いの際、暗証番号の入力を求められたことがありますか。(ひとつだけ)

(n=287)



Q13SSQ. (Q13SQ3で「暗証番号の入力を求められたことがある」とお答えの方に)
暗証番号を求められた際にどう対応しましたか。(いくつでも)

(n=117)

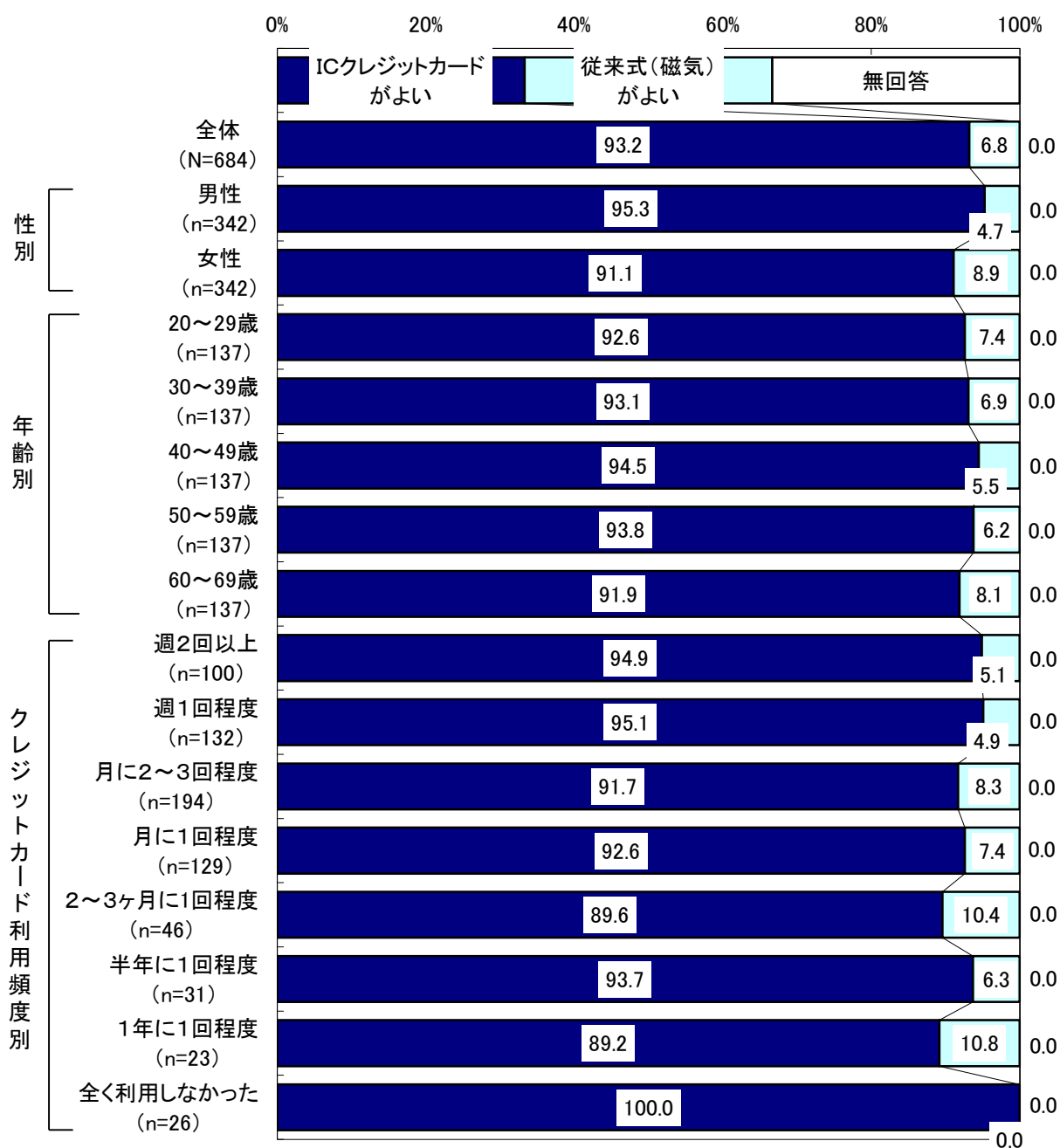


Ⅲ. ICクレジットカードについて

11. 今後のクレジットカードの利用意向①

今後のクレジットカードの利用意向について、全体では「ICクレジットカードがよい」とする人が93%と大半を占め、「従来式(磁気)がよい」はわずか7%。性別では男性のほうがICクレジットカードの利用意向が若干高い。年齢別、クレジットカード利用頻度による利用意向の差はほとんどみられない。

Q14. あなたは、今後クレジットカードを使うとしたらどちらがよいと思いますか。(ひとつだけ)

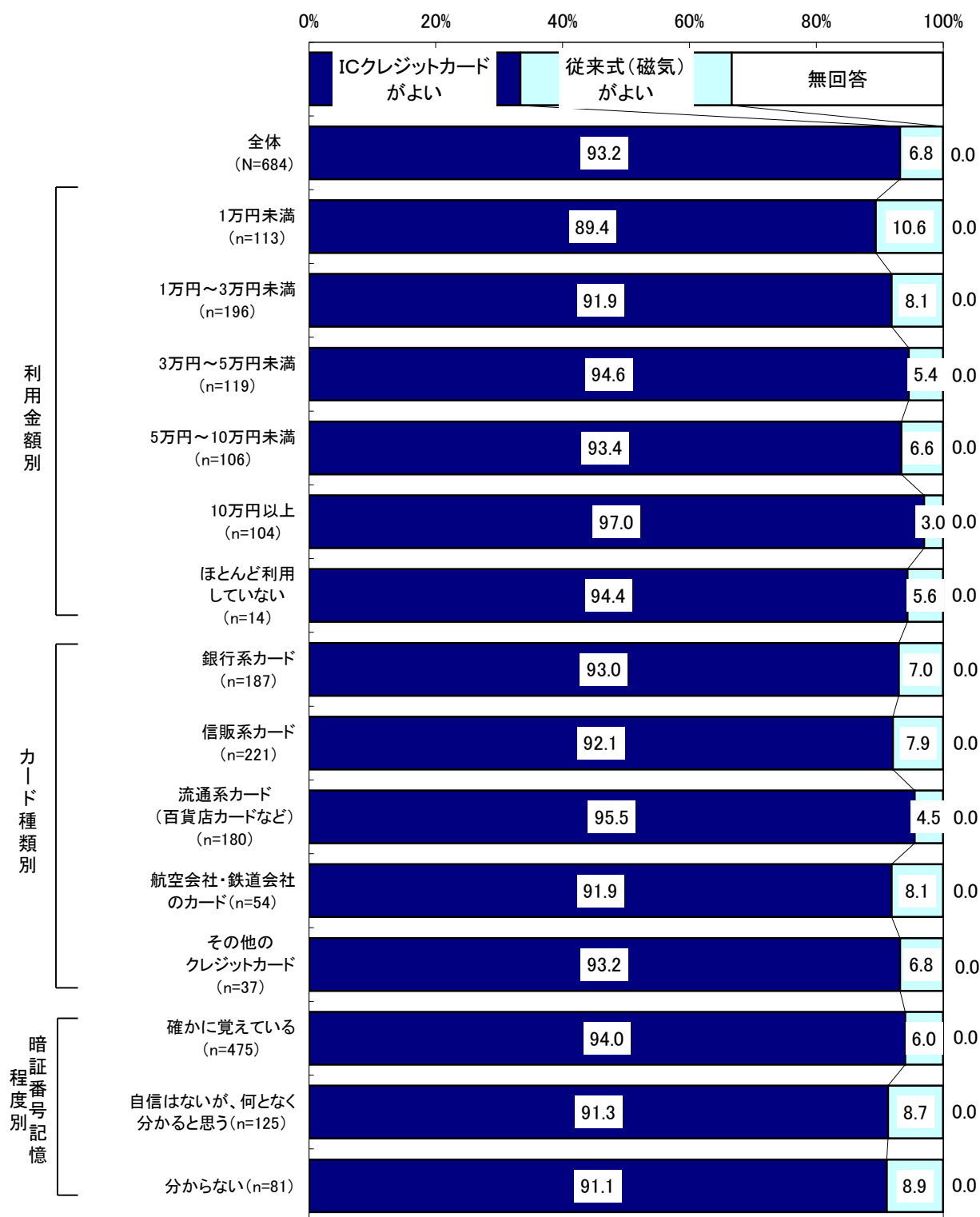


Ⅲ. ICクレジットカードについて

12. 今後のクレジットカードの利用意向②

今後のICクレジットカードの利用意向について、クレジットカードの利用金額別でみると、最も利用意向が高かったのは、10万円以上の利用層(97%)で、1万円未満の利用層との差は8ポイント。
カード種別別、暗証番号の記憶程度別による利用意向の差はほとんどみられない。

Q14. あなたは、今後クレジットカードを使うとしたらどちらがよいと思いますか。(ひとつだけ)



Ⅲ. ICクレジットカードについて

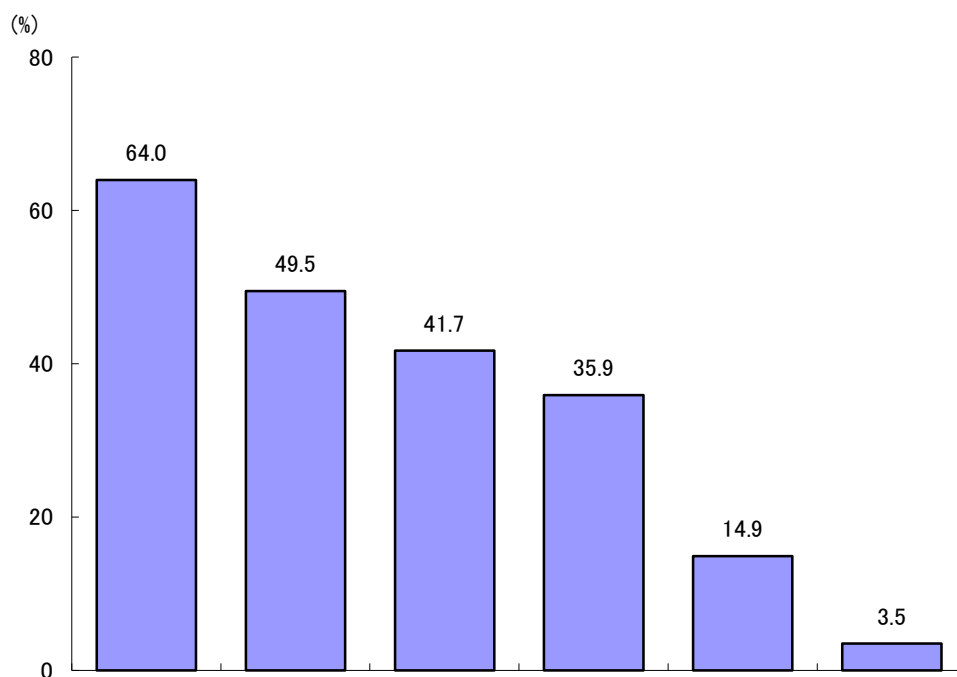
13. ICクレジットカードを選ぶ理由①

今後クレジットカードを使う場合「ICクレジットカードがよい」と答えた人にその理由をたずねたところ、「偽造される心配がない」(64%)との回答が最も多く、次いで「暗証番号が必要なので他人に使われる心配が少ない」(50%)、「カードを見えないところに持っていかなくて済む」(42%)、「サインではなく、暗証番号入力で済むので手間がかからない」(36%)の順。

属性別でみると、年齢別の60代で全般にスコアが高く、「暗証番号が必要なので他人に使われる心配が少ない」、「サインではなく、暗証番号入力で済むので手間がかからない」は、全体を10ポイント以上上回っている。

Q14SQ1. (Q14で「ICクレジットカードがよい」とお答えの方に)その理由は何ですか。(いくつでも)

(n=638)



			偽造される心配がない	暗証番号が必要なので他人に使われる心配が少ない	カードを見えないところに持っていかなくて済む	サインではなく、暗証番号入力で済むので手間がかからない	決済処理(磁気)よりも速い	その他
性別	男性	(n=326)	63.4	48.6	37.7	36.8	16.0	3.3
	女性	(n=312)	64.6	50.4	45.8	35.0	13.7	3.8
年齢別	20～29歳	(n=127)	62.9	44.0	38.9	28.0	14.9	4.0
	30～39歳	(n=128)	57.4	47.2	39.8	35.2	11.1	3.7
	40～49歳	(n=129)	66.8	44.8	38.5	30.9	14.7	3.2
	50～59歳	(n=128)	66.1	51.4	42.0	35.9	14.2	3.4
	60～69歳	(n=126)	66.5	60.1	49.2	49.5	19.7	3.2

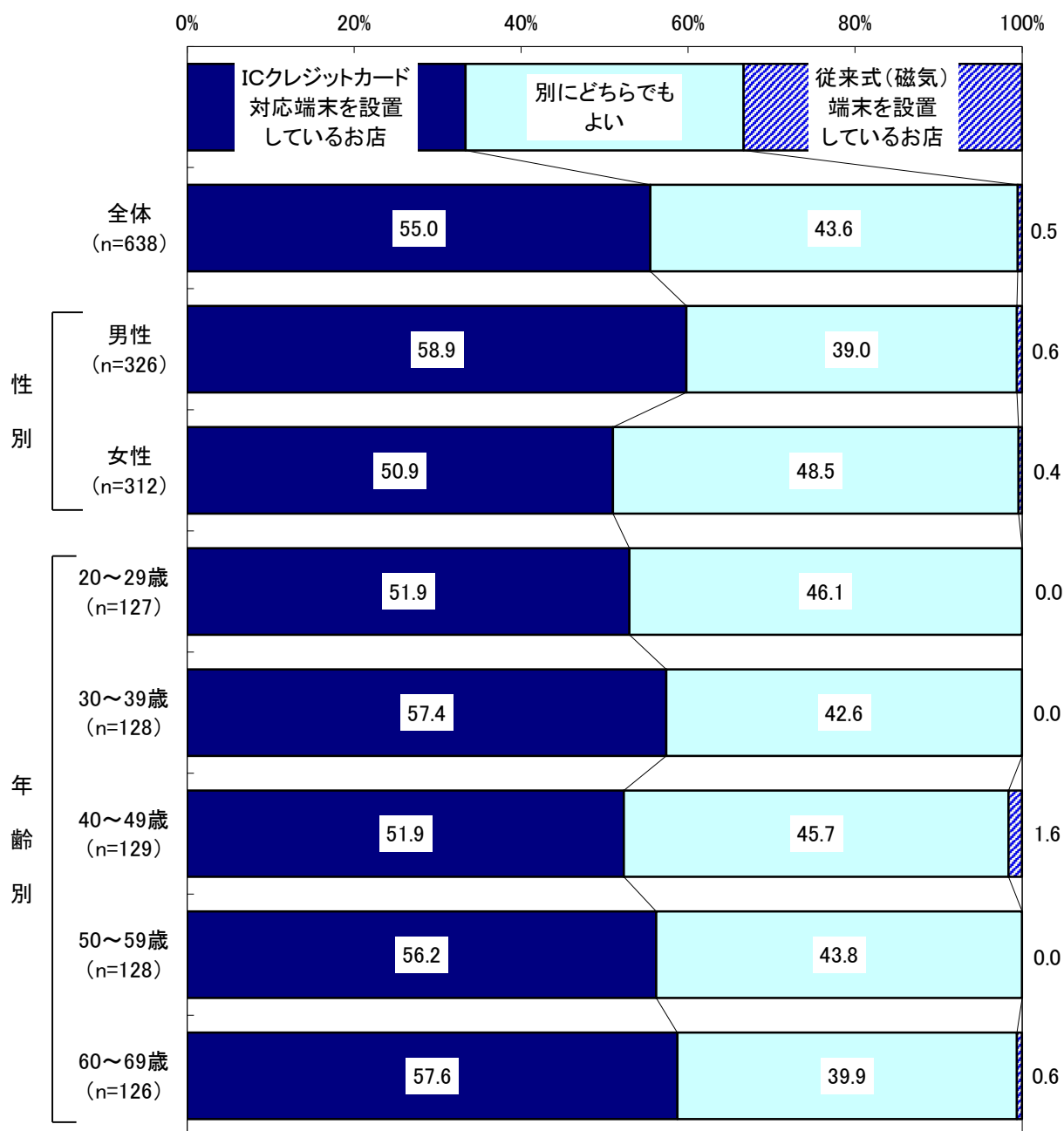
*全体値より5ポイント以上高いスコアに網掛け

Ⅲ. ICクレジットカードについて

14. ICクレジットカードを選ぶ理由②

「ICクレジットカードがよい」と答えた人にクレジットカードを使う場合に選ぶお店を聞いた。
「ICクレジットカード対応端末を設置しているお店」を選ぶ人が全体の55%と半数以上を占め、「従来式（磁気）対応端末を設置しているお店」を選ぶ人はわずか1%にも満たない。
性別では女性より男性のほうが、「ICクレジットカード対応端末を設置しているお店」を選択する割合が高くなっている。

Q14SQ2. (Q14で「ICクレジットカードがよい」とお答えの方に) あなたは、クレジットカードを使うとしたらどちらのお店を選びますか(ひとつだけ)



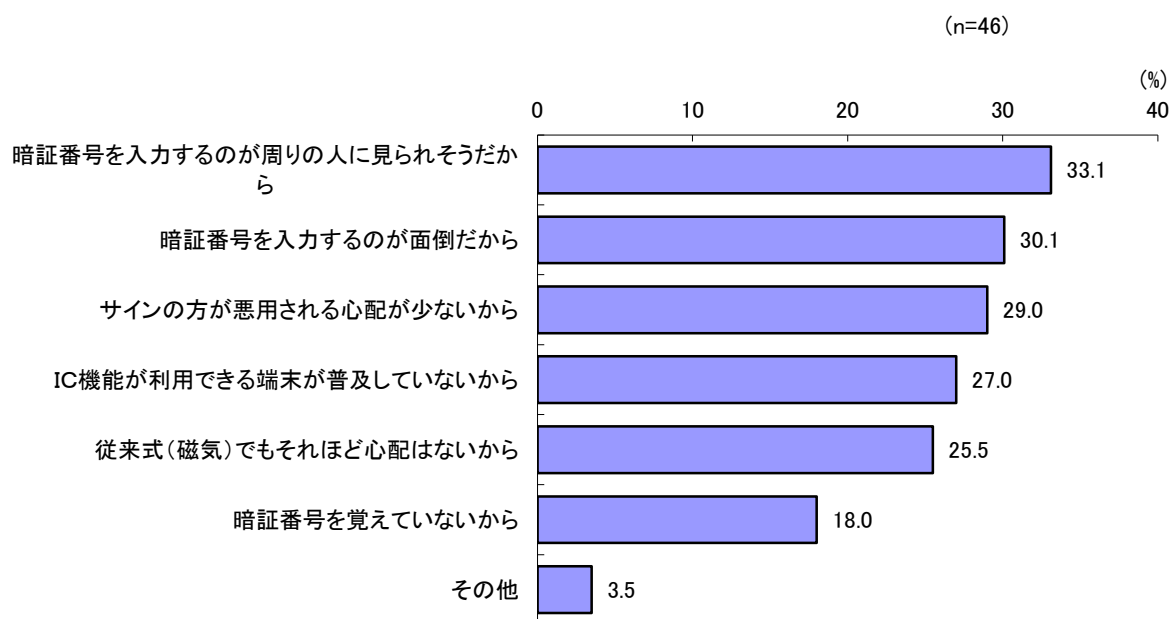
Ⅲ. ICクレジットカードについて

15. 従来式(磁気)カードを選ぶ理由

今後もクレジットカードを使う場合は「従来式(磁気)がよい」と答えた人の理由は、「暗証番号を入力するのが周りの人に見られそうだから」(33%)が最も多く、以下、「暗証番号を入力するのが面倒だから」(30%)、「サインの方が悪用される心配が少ないから」(29%)などが僅差で続く。

また、ICクレジットカードを利用するための条件は、「IC機能が利用できる端末が普及したら」(37%)、「本人確認の方法が暗証番号ではなくサインなら」(35%)が上位にあげられる。

Q14SQ3. (Q14で「従来式(磁気)がよい」とお答えの方に)その理由は何ですか。(いくつでも)



Q14SQ4. (Q14で「従来式(磁気)がよい」とお答えの方に)
どんな条件が整えばICクレジットカードを利用したいと思いますか。(いくつでも)

